

## 栃木放送平成 24 年度第 8 回 12 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 24 年 12 月 18 日(火)午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3 委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 7 名

欠席委員 2 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	鈴 木 正 好
	委 員	安 納 守 一
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	岩 村 由 紀 乃
	委 員	高 野 俊 浩
局側出席者氏名	代表取締役社長	水 沼 富 美 男
	常務取締役	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也
	報道制作部副部長	齋 藤 巖

### 4 議題

( 1 ) 「衆議院議員選挙開票速報」について

( 2 ) その他

### 5 議事内容

( 1 ) 「衆議院議員選挙開票速報」について

試聴番組：平成 24 年 12 月 16 日(日)放送

「衆議院議員選挙開票速報」のおよそ 10 分間を試聴

議題説明：報道制作部副部長 齋藤巖が

番組概要について説明。次に審議に入る。

各委員からは、

選挙報道の苦勞はよくわかる。今は出口調査で結果が出てしまうので、県選管発表の中間得票はどのように使われているのか。

ローカルの選挙はラジオがいいと思うが、国政選挙は難しいのでは。

当確が早いと長時間の放送は大変だと思う。番組の構成を考えないといけないのでは。

実際のところ、ラジオは聞いていなかった。

選挙報道はテレビに任せて、ラジオは別の番組をやってもいいのではないか。

政党の偏りはなかったか。また、敗者への配慮は大丈夫だったのか。

ラジオで国政選挙報道を長時間やる必要はなく、スポット的な放送でいいのではないか。テレビとラジオの住み分けが必要だと思う。

時代の変化、技術の進歩に沿った番組作りが必要なのではないか。

投票率は 50%。半分の人しか投票に行かなかったというところに重点を置いてほしい。一般の人はあまり選挙に関心がないのではないか。どうやって投票率を上げていくかをマスコミは考えるべきだと思う。

6時間というのは長いと思う。栃木放送はポイントで放送していた方がいいと思う。

投票に行かない人をどうすればいいか考えるべきだと思う。

票読み担当の女性アナウンサーは聞きやすくよかった。

などの意見が出された。当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

## (2) その他

平成 24 年度第 9 回 2 月期の審議会を平成 25 年 2 月 14 日(木)に開催することを決めて閉会した。